

「材料技術に関する技術交流会」を開催しました

2019年12月2日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「材料技術に関する技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

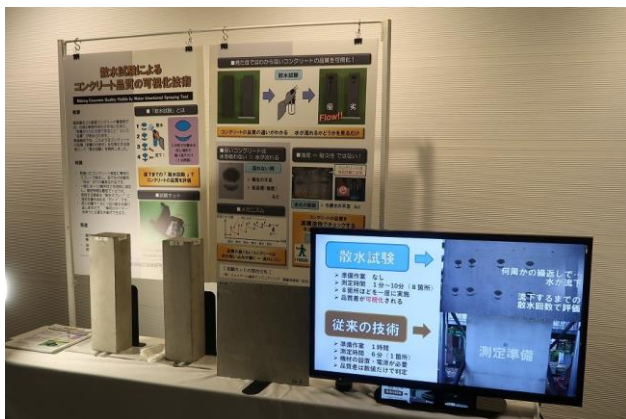
鉄道総研では、各技術分野について実用的な成果をパネルや製品の展示を用いて紹介するとともに、参加者の皆様からご意見を伺い今後のマーケティングの参考とするため、各技術分野における交流会を開催しております。このたび材料技術分野に関して、去る2019年11月20日に大阪市内の毎日新聞オーバルホールにおいて「材料技術に関する技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に49社、93名の方々にご参加いただきました。参加者のみなさまには展示パネルやシステムの画面、開発品の実物などをご覧いただきながら、説明者等との間で技術的な討議や、今後の展開、開発した材料の活用動向、材料の劣化抑制方法などに関して活発な意見交換が行われました。

【今回のポイント】

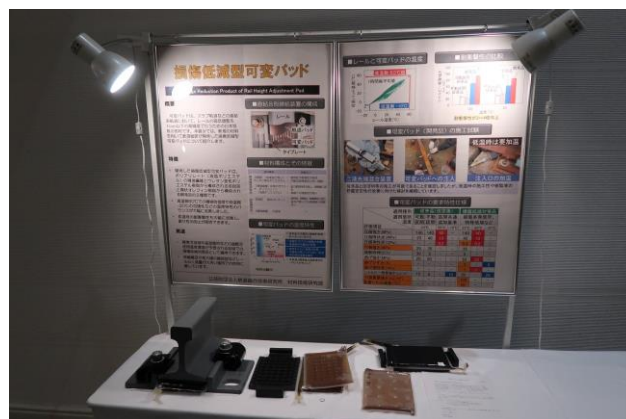
鉄道総研では、屋外の過酷な条件で長期間用いられたり、摩擦や摩耗を伴う使用条件下で用いられたりする鉄道用の各種材料に対し、新材料や新しい検査技術の導入による安全性の向上やライフサイクルコストの削減を目指した研究開発を進めています。今回の技術交流会では最近の研究開発成果の中から、施設・車両分野で実用化が間近なものを中心とした9件と、鉄道の低炭素化による環境との調和を目指して開発を進めている超電導き電ケーブル1件の、計10件の成果展示を行いました。

【材料技術に関する技術交流会】

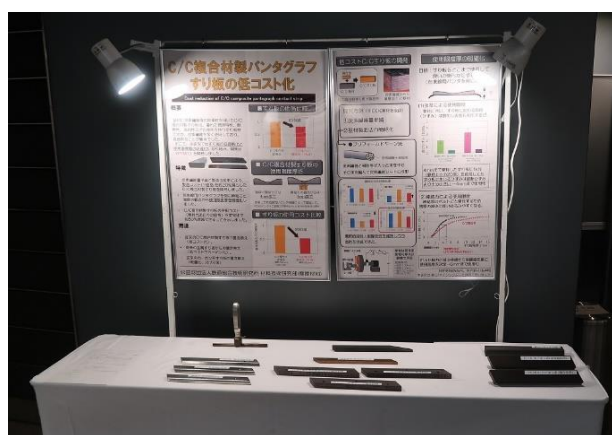
1. 開催日時：2019年11月20日(水) 12時00分から17時30分
2. 場 所：毎日新聞オーバルホール（大阪市北区梅田）
3. 展示件名
 - (1) 安全性の向上
 - ・ 損傷低減型可変パッド（施設）
 - ・ 散水試験によるコンクリート品質の可視化技術（施設）
 - ・ 異常を検知する圧電ゴムセンサ（車両）
 - ・ 低温流動性を向上した新幹線車両用ギヤ油（車両）
 - (2) ライフサイクルコストの削減
 - ・ エトリンガイトの遅延生成（DEF）で生じた劣化試料（施設）
 - ・ コンクリート構造物のメンテナンスに役立つ技術（施設）
 - ・ 車輪フランジ部の摩耗を低減するインテグレート踏面調整子（車両）
 - ・ G/C 複合材製パンタグラフすり板の低コスト化（車両）
 - ・ 駆動用機器の状態監視に適用可能な潤滑油分析装置（車両）
 - (3) 環境との調和
 - ・ 超電導き電ケーブル



散水試験によるコンクリート品質の可視化技術



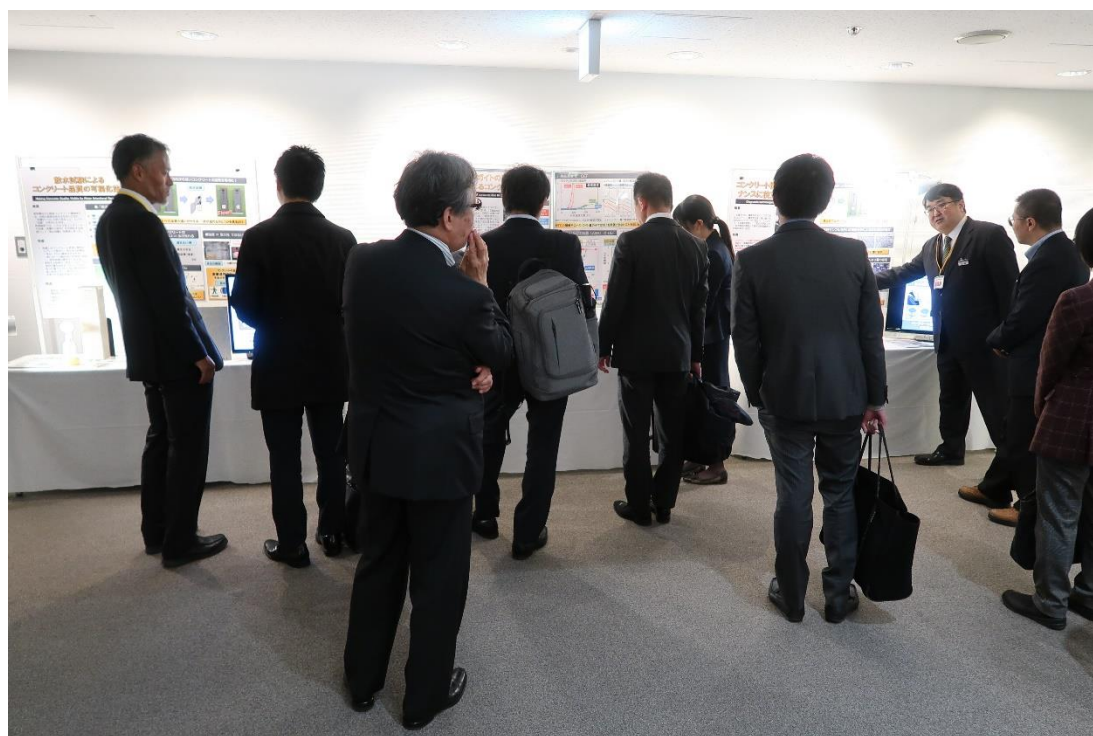
損傷低減型可変パッド



C/C複合材製パンタグラフすり板の低コスト化



超電導電線ケーブル



展示会場